



2015 年 3 月発行 NO. 2 6

《編集・連絡先》

広島市地球温暖化対策地域協議会

[事務局] 広島市環境局温暖化対策課

広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号

TEL 082-504-2185

FAX 082-504-2229

E-mail: ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp

26 年度の活動を振り返って

今年度はいろいろなことがあったために、月日の経つのが早く感じられ、早や年度末を迎えたのかと言った感じです。

5 月 12 日（月）、10 時から広島市役所において総会を開催しました。会長が、清田会長から篠原会長に交代し、今年度の事業計画も承認され、新たな気持ちで活動をスタートさせました。

7 月 25 日（金）には、当協議会の重要な事業である「2014 ひろしま温暖化ストップ！フェア」をシャレオ中央広場において開催しました。ブース出展団体は 11 団体、来場者数は 3000 名でしたが、市民の皆さんに一層関心を持っていただけるように引き続き工夫を重ねていく必要があると感じました。

8 月 20 日には、安佐北区・安佐南区において豪雨による土砂災害が発生し、74 名の方々が亡くなりました。ご冥福をお祈りします。

気象庁はこの豪雨を含め西日本各地の豪雨を「平成 26 年 8 月豪雨」と命名しましたが、地球温暖化が進めばこうした豪雨が発生しやすくなると予想されます。

昨年、IPCC 第 5 次評価報告書が公表されたことを受けて、その内容を伝える IPCC リポートコミュニケーター養成研修があり、当協議会から 3 名が受講して認定を受けました。認定を受けた後は、パワーポイント・映像などのツールを使用して報告書の内容を伝える活動ができることになり、地球温暖化に関する学習会を各種団体等に働きかけ、連携を進めています。今年度は（公社）広島消費者協会、広島市公衆衛生推進協議会、鈴が峰小学校及び春日野小学校において学習会を開催

することができました。エコ川柳事業では 10 年間の入選作品を集めた記念誌を作成しました。



2015 年 1 月から 3 月の活動

○教育・学習 WG：

「地球温暖化対策と LED に関するセミナー」

2 月 7 日 14 時～17 時

会場 広島市青少年センター

○家庭・消費者 WG：

・エコ川柳事業

「広島市地球温暖化対策地域協議会 エコ川柳 10 年の歩み」発刊

2015 年 4 月の活動予定

皆さんの積極的な参加をお願いします。

○協議会全体会議：

・4 月 28 日 15 時～ epo ちゅうごく

（定例開催日）毎月第四火曜日

活動詳細レポート

「地球温暖化対策と LED に関するセミナー」

環境教育・学習 WG は、昨年度から高校生を対象としたセミナーを開催しています。今年度は、標記のセミナーを 2 月 7 日（土）に広島市青少年センターにおいて開催して、25 名の参加がありました。

講演は、青色 LED を開発した 3 人の日本人科学者のノーベル賞受賞を受け、「LED および電子装置の仕組みとその展望」（川畑敬志 広島工業大学名誉教授）のほか、「私たちの暮らしと地球温暖化～IPCCAR5 から～」、「地球環境問題について大学センター入試ではどのように扱われているか」を協議会メンバーで行いました。



広島市からのお知らせ

「広島市観光レンタサイクル事業」について

自転車を活用した観光振興や地域の活性化を図る取り組みとして、国内外の観光客等の来訪者が観光施設等を快適に巡ることができる「広島観光レンタサイクル事業」を実施しています。

・運用期間 平成 27 年 2 月 22 日
～平成 30 年 3 月 31 日

- ・実施範囲 市内中心部
 - ・サイクルポート 14 か所設置
 - ・配置自転車 電動アシスト自転車 150 台
 - ・広島市民向けの利用料金プランもあります
 - ・受託事業者 (株) N T T ドコモ
- ーお問い合わせー

道路交通局 自転車都市づくり推進課

電話 082-504-2349 Fax 082-504-2379

IPCC 第 5 次評価報告書について

昨年、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)から第 5 次評価報告書(AR5)が公表されました。その概要を紹介します。

～JCCCA 資料より要約～

(地球温暖化の原因)

人間活動による可能性が極めて高い。

(可能性 95%以上)

(将来予測)

今世紀末までの世界平均地上気温の変化予測は、0.3～4.8℃である可能性が高い。CO₂ の総累積排出量と世界平均地上気温の変化は比例関係にある。

(将来のリスク)

次の 8 つのリスクが予測されている。

- ①海面上昇・高潮 ②洪水・豪雨 ③インフラ機能停止 ④熱中症 ⑤食料不足 ⑥水不足 ⑦海洋生態系損失 ⑧陸上生態系損失

(適応策)

将来のリスクに対して、政治的、社会的システムなどの変革に合わせ、より効果的な適応策を講じ、緩和策を合せて促進することにより、強靱な社会の実現と持続可能な開発が促進されていく。

(気候変動の緩和)

気温上昇の抑制の目標として、「2℃シナリオ」を実現するには、今世紀末にはゼロまたはマイナスの発生量にする必要がある。

太陽光発電施設の紹介(4)

広島市立春日野小学校(広島市安佐南区)

今回は、平成 22 年 4 月に開校しました広島市立春日野小学校の太陽光発電施設を紹介します。



1. 発電容量: 40kW
2. 利用用途: 校内の照明設備など
3. 発電状況については、廊下にモニターを設置している。モニター表示は、日差し
の量と電力量の 1 日の変化・1 カ月の変化を示す画面もあり、太陽光発電システムの特徴を理解しやすいものであった。また、職員室にも同様なモニター画面を表示して発電量と売電量を記録している。



協議会活動参加へのお誘い

温暖化は私たち「みんなの問題」。私たちとともに温暖化防止活動に取り組みましょう。協議会では、あなたの参加を待っています。

編集後記

第 26 号はいかがでしたか。載せてほしい情報やご意見などをお寄せください。お待ちしております。 E-mail:ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp